

[講演要旨] 三河地震の慰霊碑にみる土地改良と復興の歴史

中井春香*・武村雅之(名古屋大学減災連携研究センター)

§ 1. はじめに

1945年1月13日に発生した三河地震の被害については中井・武村(2015)で市町村毎の飯田(1985)のデータを再整理し、これらのデータから震度分布図を作成している。本論では三河地震の被害地域における石碑・史跡の調査結果をまとめ、震度分布図上に三河地震関連石碑の分布を示した。三河地震の石碑については、山本茂の「三河地震の悲劇の碑を訪ねて」(2004)等にまとめられているが、どの文献も特徴的な碑を記したものや、地域的な偏りがあるため、全体の石碑・史跡について碑文や位置などを詳細にまとめられている文献はない。本研究は、三河地震に関する石碑の現時点で見つけられるものに関しては全て調査を実施し、碑文についても原文を確認することで、後世へ残すことを目的としている。

§ 2. 三河地震に関する石碑・史跡の調査

2014年から2015年にかけて三河地震に関する石碑・史跡の調査を実施した、その結果を表1に示す。

表1 三河地震関連石碑・史跡一覧

No	名称	分類	西暦	周忌
1	浅間神社頌徳碑	復興碑	1946年1月	1
2	白山神社震災碑	慰霊碑	1952年10月	7
3	熊味観音寺震災碑	慰霊碑	1953年10月	8
4	薬師堂 戦死震災者之碑	慰霊碑	1954年10月	9
5	薬師堂 発起者	慰霊碑	1954年10月	9
6	震災記念碑	慰霊碑	1955年4月	10
7	震災殉難者之碑	慰霊碑	1955年9月	10
8	栄安寺震災死役者霊碑	慰霊碑	1955年12月	10
9	米津墓地慰霊碑	慰霊碑	1956年8月	11
10	震災死役者精霊碑	慰霊碑	1957年1月	12
11	土地改良碑	復興碑	1957年3月	12
12	蓮正寺震災之碑	慰霊碑	1957年4月	12
13	震災遭難之碑	慰霊碑	1958年11月	13
14	震災供養碑	慰霊碑	1960年8月	15
15	土地改良碑	復興碑	1961年9月	16
16	わずれじの碑 形原神社	慰霊碑	1977年1月	32
17	藤井町追悼之碑	慰霊碑	1977年11月	32
18	嶽神明堂造営遷座記念碑	復興碑	1977年11月	32
19	三河大地震之碑	慰霊碑	1983年1月	38
20	三河大地震 追憶の碑	慰霊碑	1994年8月	49
21	明治航空基地之碑	復興碑	1996年3月	51
22	八柱神社	設備倒壊		
23	本龍寺	設備倒壊		
24	如光堂	設備倒壊		
25	御嶽神明宮社殿	設備倒壊		
26	福浄寺	設備倒壊		
27	小島龍宮社地割れ	遺構		
28	米津橋	慰霊祭		
29	妙喜寺 地蔵菩薩	慰霊碑		
30	妙喜寺 地割れ跡	遺構		
31	妙喜寺本堂	設備倒壊		
32	緑心寺 石仏	設備倒壊		
33	深溝断層	遺構		
34	本光寺	設備倒壊		
35	宗徳寺 三河地震の地割れ	遺構		
36	大脳神明社常夜灯	設備倒壊		
37	知立神社芭蕉の句碑	設備倒壊		
38	錫杖宝珠地藏	設備倒壊		
39	花ノ木観音	設備倒壊		
40	新町の大燈籠	設備倒壊		

今回の調査結果によると40件の関連石碑・史跡を三河地震関連としてまとめることができた。その内訳で、最も数が多かったのが慰霊碑で17件、続いて設備倒壊の13件、復興碑4件、慰霊祭1件である。建立年を見ると10周忌、12周忌、32周忌、50周忌を節目に慰霊碑が建てられている。最も早く建立されたのが安城市浅間神社の頌徳碑であることも注目すべき点である。

§ 3. 三河地震の震度と石碑・史跡の分布

中井・武村(2015)で推定した震度分布に石碑・史跡の位置を記したものを図1に示す。震度分布からは、震度の高い地域が岡崎平野に広がっているという地形条件との強い相関性があることが分かった。震度7の地域は、明治村、櫻井村、福地村、三和村、横須賀村であり、石碑・史跡の分布は震度7の地域に集中していることが分かる。被害が大きい地域を中心に慰霊碑が多く分布し、その中には、矢作川の治水や土地改良に関するものも含まれる。断層に沿って遺構が分布していることなど内陸直下型地震の特徴がある。

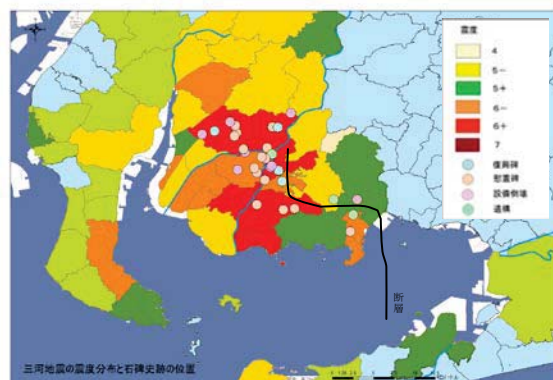


図1 三河地震震度分布図と石碑・史跡の位置

§ 4. まとめ

三河地震の石碑調査を実施した結果、40件の関連石碑や史跡をまとめることができた。慰霊碑や設備倒壊のものが多かったが、特徴として矢作川流域の沖積低地を中心に、土地改良碑などの震災後の復興に関する石碑が含まれていることが分かった。周忌に関しては、震災後7年以上を経て建立されている点で他の地震の慰霊碑と異なる。これは戦争という社会情勢が影響していると考えられる。また、今後は原文や写真などをまとめた調査報告書を作成する。